

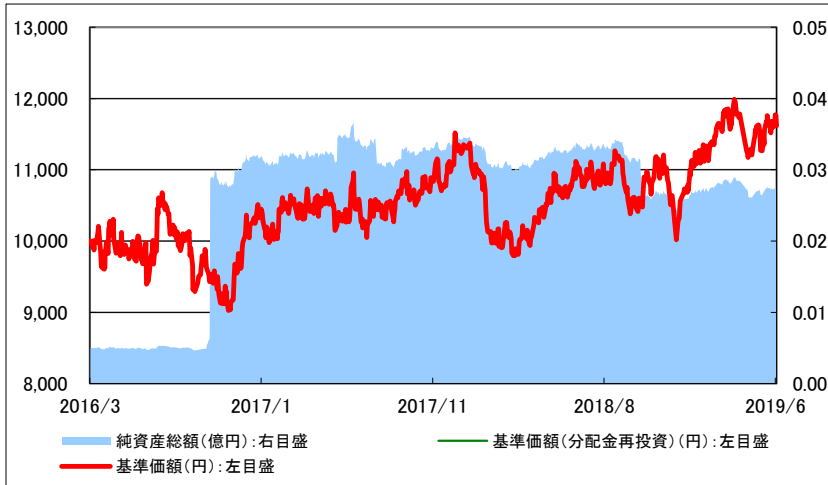
オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

当初設定日 : 2016年3月17日

作成基準日 : 2019年6月28日

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
 ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	11,618 円	+ 346 円
純資産総額	0.03 億円	+ 0.00 億円

期間別騰落率

	騰落率	ご参考	
		オーストラリア・ドル/円	
1カ月	3.07%	-0.04%	
3カ月	-1.80%	-4.01%	
6カ月	9.21%	-3.44%	
1年	9.16%	-6.99%	
3年	20.07%	-1.63%	
設定来	16.18%	-11.67%	

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ※ オーストラリア・ドル/円レートは、TTMレートを使用しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 0 円

決算期	2018年1月	2018年7月	2019年1月
分配金	0 円	0 円	0 円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

組入投資信託証券の状況

投資信託証券	比率
LM・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)*	98.25%
マネープールマザーファンド	0.07%
その他	1.67%
合計	100.00%

- * 以下「主要投資対象ファンド」ということがあります。
 ※ 対純資産総額比です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。

オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

当初設定日 : 2016年3月17日

作成基準日 : 2019年6月28日

LM・オーストラリアREIT マザーファンドの資産の状況

※ 「LM・オーストラリアREIT マザーファンド」は、「LM・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)」の主要投資対象です。

資産内容

REIT	95.45%
短期金融資産等	4.55%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

特性値

予想配当利回り	4.97%
銘柄数	24

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出した値(対純資産総額比)です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

用途別組入状況

	用途	比率
1	分散型	38.68%
2	商業施設	38.15%
3	オフィス	10.53%
4	物流・産業用施設	6.75%
5	ヘルスケア	0.96%
6	その他特化型	0.39%

※ 対純資産総額比です。

ファンドマネージャーのコメント

【市場動向】

6月のオーストラリアREIT市場は上昇しました。上旬は、RBA(オーストラリア準備銀行)が6月4日の理事会で利下げを決定したことや、RBA総裁が先行きの金融政策に関して、労働市場の動向を注視しながら、景気支援のために追加利下げを実施する可能性に言及したことなどを受け、REIT市場は上昇しました。中旬は、豪雇用統計で失業率が市場の低下予想に反し、前月から横ばいとどまったことや、RBAの理事会議事録で追加利下げの可能性が示唆されたことを受けて、債券利回りが低下したことなどから、REIT市場は強含みとなりました。また、欧米で金融緩和観測が高まり、主要国の株価が上昇したことも追い風となりました。下旬は、REIT市場は上値を試す場面も見られましたが、月末にかけて債券利回りがやや上昇したことなどから、上昇一服となりました。

豪ドル・円相場は、前月末比ほぼ横ばいとなりました。RBAが市場の予想通り利下げを決定した後も追加利下げ観測が広がり、豪ドルは対円で下落しましたが、その後は米中貿易協議の進展期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことから、月末にかけて反発する展開となりました。

6月については、REIT市場全体が上昇する中、ポートフォリオで保有している銘柄の多くが上昇しました。金利低下が追い風となる中、順調に増資を実施したGPTグループ(分散型)やミルバックグループ(分散型)が上昇しました。一方、ストックランド(分散型)は前月の上昇の反動で、利益確定の売りなどから下落しました。

【今後の見通しと運用方針】

今後のREIT市場については、オーストラリア経済の回復基調に足元で鈍化傾向が見られる中、RBAは6月に利下げに踏み切り、7月にも追加利下げを決定しました。さらに、RBAが追加緩和の可能性に含みを持たせていることが、REIT市場の下支えとなると見込まれます。また、5月の総選挙で続投を決めたモリソン政権は財政緩和策を実施する方針を示しており、今後は財政・金融両面から景気を下支えていくと予想されます。豪ドルに関しては、RBAによる追加利下げの可能性が意識される局面で豪ドルの上値が抑えられる可能性があります。しかし、RBAの利下げによって豪金融政策を巡る不透明感が払しょくされ、金融緩和による先行きの景気下支え効果への注目が高まれば、豪ドル相場の見直しに繋がる可能性があると考えられます。

当ファンドはオーストラリアの証券取引所に上場しているREITへの投資を目的としたファンドです。主に収益の成長性とバリュエーションに着目して投資銘柄を選定し、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。また、流動性と配当利回りに配慮しながらポートフォリオを構築してまいります。

※ 「LM・オーストラリアREIT マザーファンド」の資産内容等は、三井住友トラスト・アセットマネジメントがレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

当初設定日 : 2016年3月17日

作成基準日 : 2019年6月28日

LM・オーストラリアREIT マザーファンドの資産の状況

※ 「LM・オーストラリアREIT マザーファンド」は、「LM・オーストラリアREITファンド(適格機関投資家専用)」の主要投資対象です。

組入上位10銘柄

	銘柄	用途	比率	銘柄解説
1	GPTグループ	分散型	8.64%	オフィス、ビジネス・パーク、商業施設、ショッピングセンター等、多様なポートフォリオの所有、管理を行う。
2	ストックランド	分散型	8.26%	オーストラリア国内の店舗や商業用不動産に投資し、運用管理する不動産投資信託。不動産開発・管理、ホテル管理に加えて、ファイナンスを含む関連サービスも提供する。
3	センターグループ	商業施設	7.85%	オーストラリア、ニュージーランド国内で、ウエストフィールド・ブランドのショッピングセンターを運営。
4	ミルバック・グループ	分散型	7.81%	総合不動産会社。オーストラリアの商業用オフィス、ショッピングセンター、産業施設、ホテルなどの不動産に投資を行う。
5	デクサス	オフィス	7.78%	シドニー、メルボルン、ブリスベンなどにおいてオフィス・ポートフォリオを運用。産業用不動産や小売不動産への投資も手掛ける。
6	チャーター・ホール・グループ	分散型	7.68%	不動産投資開発会社。不動産投資信託の管理およびオフィススペース、小売不動産、産業用不動産の開発に従事している。
7	ユニベイル・ロダムコ・ウエストフィールド	商業施設	6.33%	不動産投資信託。ショッピングセンターを運営する仏ユニベイル・ロダムコと豪ウエストフィールド・コーポレーションが合併して誕生。欧米の主要地域を中心に高価格帯のショッピングセンターを展開。
8	ビシニティ・センターズ	商業施設	5.46%	オーストラリアでショッピングセンターを所有・運営するREIT。フェデレーション・センターズとノビオン・プロパティ・グループとの合併を受けて誕生。
9	チャーター・ホール・リテール・REIT	商業施設	4.98%	不動産投資信託。スーパーマーケットやショッピングセンターをポートフォリオとして保有。
10	SCAプロパティ・グループ	商業施設	4.71%	不動産投資信託。オーストラリア及びニュージーランドに各種ショッピングセンターを保有及び運用し、小売大手のウールワースとは主要テナントとして長期間のリース契約を結んでいる。

※ 対純資産総額比です。

※ 「LM・オーストラリアREIT マザーファンド」の資産内容等は、三井住友トラスト・アセットマネジメントがレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

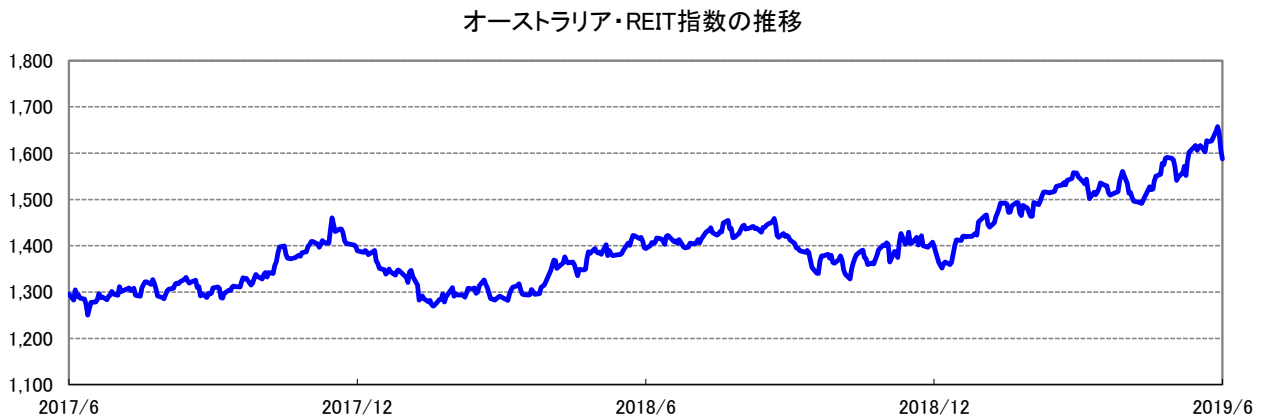
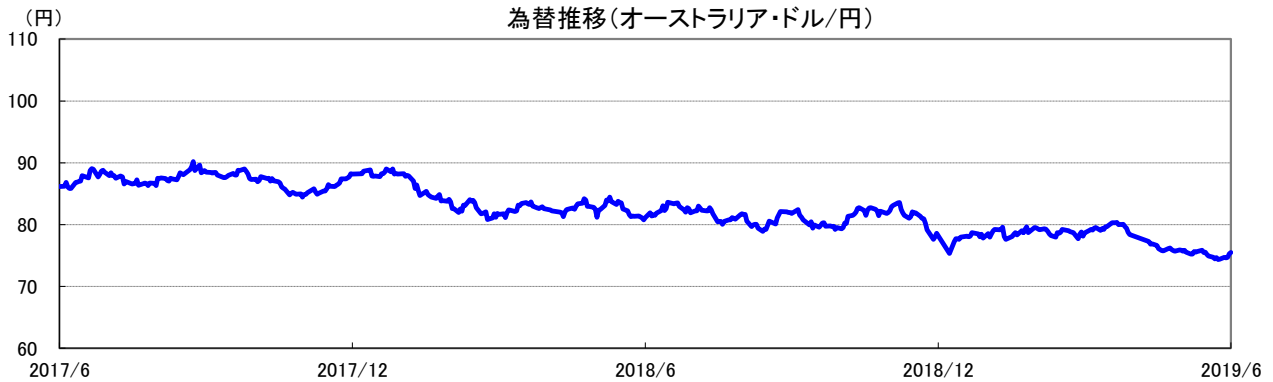
オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

当初設定日 : 2016年3月17日

作成基準日 : 2019年6月28日

ご参考



※ 上記グラフは信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。

※ オーストラリア・REIT指数は、S&P/ASX300 A-REIT指数です。当指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

当初設定日 : 2016年3月17日

作成基準日 : 2019年6月28日

ファンドの特色

1. 主として、オーストラリアのREIT(不動産投資信託証券)に投資します。
2. 銘柄選定にあたっては、銘柄毎の収益の成長性・割安度・配当利回り・流動性等を勘案します。
3. 原則として、年2回決算を行います。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
従って、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様にご帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【リート価格変動リスク】

リートの価格は、不動産市況(不動産稼働率、賃貸料、不動産価格等)、金利変動、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。また、リート及びリートの運用会社の業績、財務状況の変化等により価格が変動し、基準価額の変動要因となります。

【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

当初設定日 : 2016年3月17日

作成基準日 : 2019年6月28日

お申込みメモ

- 購入単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 … 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 … 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。(信託財産留保額の控除はありません。)
- 換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 購入・換金申込受付不可日 … 申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。
オーストラリア証券取引所の休業日
シドニーの銀行休業日
メルボルンの銀行休業日
- 換金制限 … ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付の中止及び取消し … 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及びすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
- 信託期間 … 原則として、2016年3月17日(設定日)から2025年7月14日までとします。
- 繰上償還 … 委託会社は、主要投資対象ファンドが償還されることとなった場合、このファンドを解約し、信託を終了(繰上償還)させます。
次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日 … 毎年1月、7月の各14日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収益分配 … 年2回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。
- 課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。
なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

当初設定日 : 2016年3月17日

作成基準日 : 2019年6月28日

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.24%*(税抜3.0%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※消費税率が10%になった場合は、3.3%となります。

■ 信託財産留保額

ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して**年率1.1124%*(税抜1.03%)**

※消費税率が10%になった場合は、1.133%となります。

■ 投資対象とする投資信託証券

純資産総額に対して年率0.594%*(税抜0.55%)

※消費税率が10%になった場合は、0.605%となります。

■ 実質的な負担

純資産総額に対して**年率1.7064%*程度(税抜1.58%程度)**

この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。

※消費税率が10%になった場合は、1.738%程度となります。

■ その他の費用・手数料

監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託証券の費用は表示していません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

